

① 学習指導案

プログラム	No.1 1 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全 時間)	ああと驚く階段アート～足・腰・心を元気に～
学習のねらい	まちの発展や景観づくりのために尽力する地域の人々の存在や思いに気付き自分達にできることを考え行動したり、行事に参加したり、地域参画意識を高める。
学習内容	1 コロナ禍の今、どんな総合にするか考えよう 2 南永田台のまちの魅力を探そう 3 つながりを感じてもらえる階段アートを描こう 4 まちの人とつながれる階段アートを目標そう 5 ああと驚く階段アート～足・腰・心を元気に～
参考資料準備 品実施場所等	階段に絵を描くための物品（ペンキ・筆・油性マジック等） 実施場所：永田台小学校付近 階段

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
5	<p>1 コロナ禍の今、どんな総合にするか考えよう</p> <p>○これまでの学びを振り返るとともに、どのような力をつける1年間にするか話し合う。</p> <p>○自分たち以外の人々の思いを知るために、インタビュー調査などをする必要に気付き、計画を立てる。</p> <p>○まちの人・全校・保護者にインタビューやアンケートを行い、自分たちが目指している活動は本当に必要か話し合う。</p> <p>○階段アートをすることでどのようなよさがあるか話し合い、今年の材を決定する。</p>	<p>・事前に地域の人と連絡をとり、困り感取材しておく。その際、子どもたちが社会情勢をリアルな課題として前向きに捉えられるよう、コロナ禍で外に出られないこと、高齢者にとっては人と会えないことは心身の健康に影響を及ぼしていることに触れて話をしてもらう。</p>	<p>☆自分たちが暮らすまちには高齢化が進み、先行き見えない困難な状況の中で人々のつながりが希薄化しているという課題があり、人々をつなげるために努力されている人がまちにいるということや、その方々が思いをもって取り組んでいることを理解している。(概念的な知識の獲得)</p>

10	<p>2階段アートの魅力を探ろう</p> <p>○いくつかの階段アートを見て、どんな絵や内容等になっているか、気付いた特徴を共有する。</p> <p>○自分たちでテーマを決めて階段幅の紙に絵を描き、そこから分かったことを整理・分析する。</p>	<p>階段アートの魅力にとことん触れられるよう、同じ小学生の作品や憧れを抱けるようなものと出会えるようにしておく。</p>	<p>・「階段アートでまちの人のつながりを創りたい」という目的の実現に向けて地域社会の様子から課題を見出し、解決の見通しをもつことができる。(課題の設定)</p>
25	<p>3つながりを感じてもらえる階段アートを創ろう</p> <p>○テーマを決めて、内容を考え、絵を描く。</p> <p>○編集をし、一つの絵に仕上げる。</p> <p>○地域の方や保護者、学校の人、プロに見てもらい、アドバイスをもらう。</p> <p>○アンケートを読んで問題を整理し、問題の原因や解決の見通しを話し合っ分析する</p>	<p>自分たちの思いだけで作創ってしまったデザインであるという現実から「まちの人の思いや願いをもっと聴いていく必要がある」という課題に気付かせるようにする。</p>	<p>・まちについての調査を、目的や対象に応じて適切に行ったり、得た情報を適切に処理して表現したりすることができる。(自在に活用することが可能な技能の獲得)</p>
30	<p>4まちの人とつながれる階段アートを目指そう</p> <p>○どんなテーマや内容にしたら、見た人は“つながり”を感じられるか話し合う。</p> <p>○地域の人にはどんな思いや気持ちで、このまちのために尽力しているのか調査したりインタビューしたりする。</p> <p>○調査やインタビューをした結果をもとに、階段アートで伝えたいテーマや内容について話し合い、再決定する。</p> <p>○テーマや内容に合わせて、表現方法を考える。</p>	<p>誰と出会い、どんな思いに触れたらまちへの思いや愛着を深めるきっかけになるか、事前に吟味するようにする。取材対象者と事前にねらいを共有しておく。</p>	<p>・よりよい階段アートを指して表現する楽しさやまちの人とふれあう喜びを感じ取り、自分や仲間のよさを生かしながら粘り強く追究しようとする。(主体性・協働性)</p> <p>・人々の思いやまちの魅力を効果的に伝えるために、まちの方々へのインタビュー、階段アートでの表現方法など効率的な手段で情報を集め、適切に蓄積することができる。(情報の収集)</p>

10	<p>○クラスで一つの絵に仕上げる。</p> <p>5 ああっと驚く階段アート ～足・腰・心を元気に～</p> <p>○自分たちの活動のゴールとして誰にどんなことを思ってもらいたいか、そのために何ができるか話し合う。</p> <p>○出来上がった階段アートを、協力してくださった地域の方やプロの方、学校の先生に見てもらおうお披露目会を開く。</p> <p>○永田台小学校で階段アートを紹介するイベントを行う。</p> <p>○階段アートをまちの人と一緒に作ったり、描いたりしたことでのどのような効果があったのか話し合う。</p>	<p>コロナ禍であっても安全に実施でき、かつ盛大にお披露目できる場を設定し、子どもたちが大いに達成感を味わえるようにする。</p> <p>一年間を丁寧にふり返り、言語化することで、自分の価値観の変容やまちへの参画意識を高められるようにする。</p>	<p>・地域の人がつながりを感じる階段アート制作を通して、まちに役立つことができた自分自身に気づき、地域の一員として地域の中で自分にできることを見つけ、地域の他者と豊かに関わっていかうとする。(将来展望・社会参画)</p>
----	--	--	---

<留意点>

②事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立永田台小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
5	学校	いつもお世話になっている地域の方や全校の子ども達に、今困っていることをアンケートをとったり、階段アートの活動について応援してくれるかをインタビューしたりした。		コロナ禍の生活はまだまだ自由に人と関わることができない。特に高齢者は心と体の健康面が心配… 階段アートはぜひ応援したい！
10	教室 視察	様々な階段アートを視察したり調べたりした。「テーマ」「伝えたいメッセージ性」があることが分かった。		子ども達は、はやく自分達で作りたい、描きたいと意欲を高めた。同時に、何を描くかが大切だということを学んだ。
15	学校	学校の魅力やすてきなところを絵で描き、階段アートを制作した。		他学年の反応やアンケート結果から見た人に喜んでもらえること、メッセージが伝わることを実感した。
15	地域の 様々な場所	地域の人に、このまちの魅力や好きな所をインタビュー調査した。		まちの魅力を聴くたびに、自分達のまちの見方を更新し、愛着を大きく深めた。
25	階段	学校と地域の憩いの場をつなぐ階段に、まちの魅力や自慢をテーマごとに分けて描いた。完成後、お披露目会を行った。		完成したときの達成感、地域の方へのお披露目会は大きな成功体験となりました。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>地域の方の思いや魅力にふれ、まちへの愛着を十分に深め、参画意識を高められるようにした。何度もインタビューすることで、自分たちの故郷への思いや、まちの人の温かさを実感できるようにした。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>コロナ禍でも活動の制限。とくに人と直接対話したい時など、不自由度を感じた。オンラインを活用した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>人と出会う度、活動を重ねる度に子ども達は達成感を獲得していた。地域の方から「まちの宝となった」と声をかけてもらえ、作品として形に残ったことは大きな喜びとなった。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>最初は、階段にまちの魅力の絵を描くだけでも作業で終わってしまう懸念をしていた。しかし、子どもと一緒にまちの方にインタビュー活動をしていく中で、子ども達やまちの未来のことを真剣に考え、思い、情熱をもって活動してくれている人がたくさんいることを知り、本当に素敵な地域だと実感した。まちの景観とは、建物や施設、見た目だけではなく、そこに住む人々や思いがこもってこそ、輝いていくのだと私自身も感じました。</p> <p>貴重な一年間でした。ありがとうございました。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>これからもまちの一員として、主体的に参画していけるよう見守っていきたい。また、他の学年の児童にも同じようなまちへの愛着心、参画意識を育て、地域と積極的につながり、参画していける子どもを育てる学校現場でありたい。</p>